

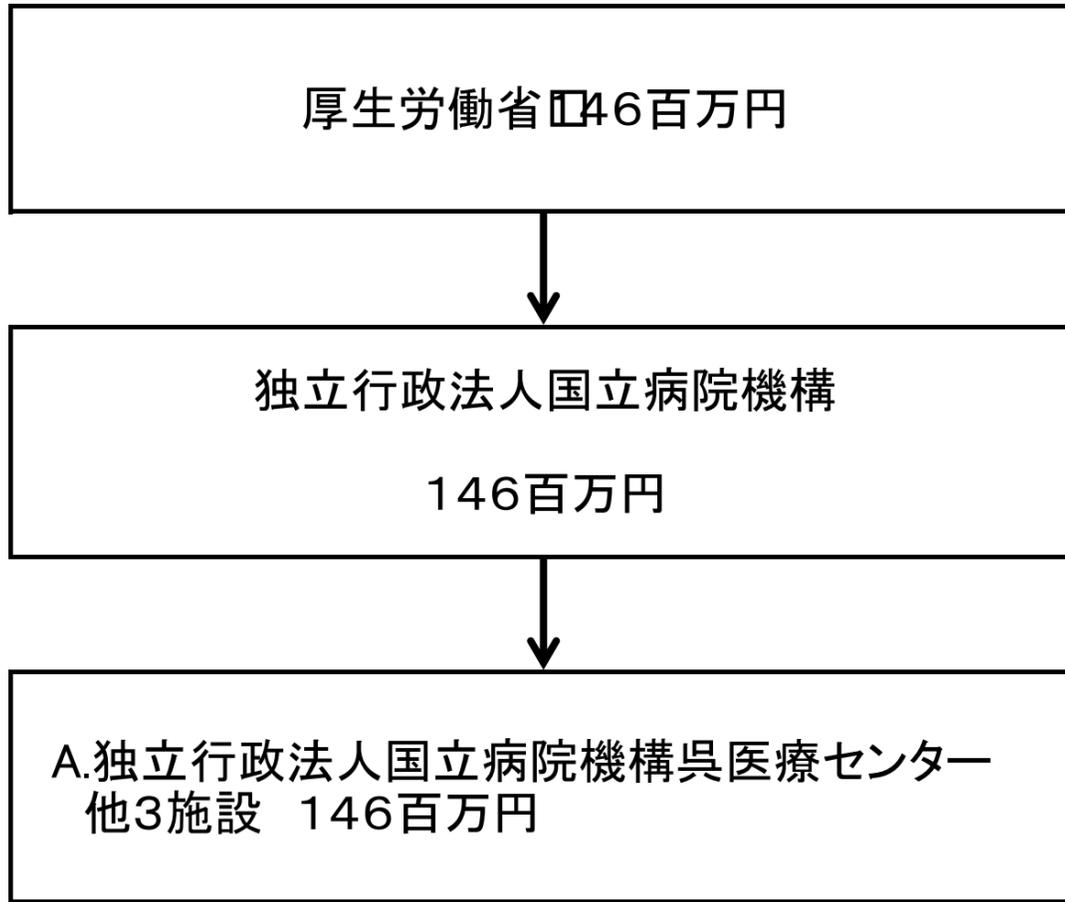
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立病院機構施設整備費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度～22年度		担当課室	国立病院課 国立病院機構管理室		室長：廣田正実	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-4-1 政策医療を向上・均てん化させること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条		関係する計画、通知等	平成22年3月25日厚生労働省発医政0325第66号「独立行政法人国立病院機構施設整備補助金の国庫補助について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立病院機構の施設の整備のために要する経費を補助することにより、同機構の業務(医療の提供、医療に関する調査及び研究、医療に関する技術者の研修及びこれらの附帯業務)の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人国立病院機構が行う施設整備のうち、①看護師養成所、地域医療研修施設等の直接診療収入と関連性のないもの、②神経・筋疾患(筋ジスを含む。)施設、重症心身障害児(者)施設等の国が担うべき医療に関するもの、③耐震化及び防災対策にかかるもの、④旧国立病院等再編成計画に伴う土地の購入及び国から承継した借地の購入にかかるもの、⑤災害復旧事業にかかるもの、⑥アスベスト対策にかかるものについて、必要と認める額について補助を行う。 (補助率② 国1/2、②以外 国10/10)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	3,121				
		補正予算					
		繰越し等	▲ 699	2,353	185		
	計	2,422	2,353	185			
	執行額	2,364	2,121	146			
執行率(%)	98%	90%	79%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	国立病院機構が施工した施設整備の完了		成果実績	-	・病院内保育所新築整備(平成24年度) ・研修医宿舎新築整備(平成24年度) ・重症心身障害児(者)施設整備(平成22年度～23年度) ・看護師等養成所宿舎整備(平成22年度)等		
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国立病院機構が施工した施設整備の件数		活動実績 (当初見込み)	件	33 (-)	37 (-)	4 (-)
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				
	計	-	-				

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費 必要 投入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	独立行政法人国立病院機構法第3条の目的を遂行するために必要な事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	独立行政法人国立病院機構法第3条に基づき、国の医療政策として国立病院機構は担う事業について予算措置している。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	独立行政法人国立病院機構法第3条に定める目的の達成手段として、優先度の高い事業である。	
事業 の 効率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の適正化に取り組んでおり、競争性・透明性は確保されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の適正化に取り組んでおり、競争性・透明性は確保されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
事業 の有 効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	独立行政法人国立病院機構法第3条の目的に沿って活用されている。	
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点 検 結 果	成果実績や活動実績で一定の成果を上げており、また、事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では特段問題はない。			
外部有識者の所見				
-				
行政事業レビュー推進チームの所見				
-				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
-				
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年		平成23年	100	平成24年
				1032

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設費	非診療収入部門の施設整備に必要な経費	146			
計		146	計		0
B			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社橋本組	福島病院保育所新築整備工事(建築)	41	2	99.91%
2	株式会社プランニング三誠	呉医療センター研修医宿舎新築整備工事(建築)	37	5	95.83%
3	株式会社高光建設	釜石病院保育所新築整備工事(建築)	32	2	97.62%
4	株式会社内藤ハウス仙台営業所	宮城病院保育所新築整備工事(建築)	32	7	96.77%
5	有限会社みやび建築工房	福島病院保育所新築整備工事(実施設計、工事監理業務委託)	2	3	74.66%
		宮城病院保育所新築整備工事(工事監理業務委託)	1	1	97.99%
6	有限会社環境計画工房	釜石病院保育所新築整備工事(工事監理業務委託)	1	2	92.97%
7	株式会社村田相互設計	呉医療センター研修医宿舎新築整備工事(工事監理業務委託)	1	14	43.96%